

「ブッシュ・ド・マロン」開発秘話

洋菓子店「アントルメ菓樹」の柴田オーナーより、熊本商業高校のマーケティング部に「TKU の日に販売するスイーツを共同開発しないか」と声をかけていただきました。

今年の TKU の日のテーマは「熊本復興支援～未来へエール～」だったので、豪雨災害の被害が大きかった人吉・球磨の栗を使ったスイーツを作成することになりました。

菓樹で販売されている栗を使ったスイーツをいただいた後、それぞれのお菓子のアイデアをスケッチブックに描きはじめます。小さい頃に読んだ本に出てきた『ブッシュ・ド・ノエル』を思い出し、ふんだんにクリームを使って切り株を表現してロールケーキを作ることを見案しました。ロールケーキならば好きな厚さに切ることができ、家族全員でも分けやすく食べやすい。コロナ禍で家族時間が増える中、ケーキを囲んで笑顔になってほしいという願いを込めました。



数日後、スイーツの試作品ができたと連絡をいただき、アントルメ菓樹に伺いました。自分たちが考案したものを再現したスイーツが並んでいて、うれしくなりました。見た目は、スケッチブックのイラストよりもっと可愛くなっていて、それだけで感激しました。その後、一口サイズに切り分けられ試食が始まります。一口食べるごとにやさしい甘さが広がり、想像よりも何倍、何十倍も美味しくてびっくりしました。

イベントでは、持ち帰りが前提になるため、オーナーの意見も交え話し合いを重ね、このロールケーキ「ブッシュ・ド・マロン」を売り出すことが決まりました。

TKU の日 熊本復興支援～未来へエール～

当日は、マスクやフェイスシールドなど感染防止対策を徹底し、接客を行いました。「英太郎のかたらんね」という番組やCMで宣伝してもらえたこともあり、放送を見たお客様からたくさん声をかけていただきました。感染対策のため試食を提供することができない中での販売でしたが、好調な売れ行きで200個（2日間）を完売することができました。

